



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

SDGs 未来都市豊島区



食品ロスをなくそう!

豊島区の取り組み3本柱

1. フードレスキュー

2. フードドライブ

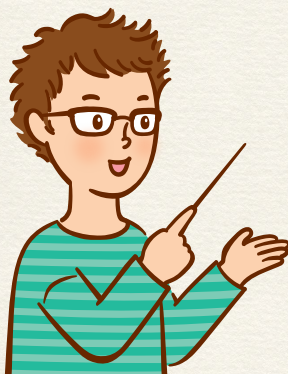
3. 食べきり協力店

SDGs (持続可能な開発目標)と食品ロス

豊島区が「SDGs 未来都市」「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定!

SDGsとは、世界を持続可能なものとするために2015年9月の国連サミットで採択された17の国際目標です。

食品ロスは、目標2「飢餓をゼロに」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標17「パートナーシップで目標達成しよう」など複数の目標に関わる重要な課題です。



食品ロスとは?

日本では年間約600万t(平成30年度推計)の食品ロスが発生しています。これを国民1人当たりに換算すると、1日お茶碗約1杯分(約130g)のご飯の量を捨てていることになります。

豊島区で換算すると毎日37tの食べ物が廃棄されていると言えます。



豊島区の取り組みについては裏面の詳細をご覧ください!

フードレスキュー

まだ、おいしく安全に食べられるのに、店頭では売り切るのが難しい食事をお得に「購入(レスキュー)」できるサービスです。

飲食店等から出るそのままでは、捨てられてしまう食品と消費者をマッチングすることによって食品の廃棄を減らすことができます。豊島区ではフードシェアリングサービス「TABETE」を運営する株式会社コークッキングと「豊島区における食品ロス削減に向けた連携協定」を令和3年3月29日に締結しました。



フードドライブ

「ご家庭で余っている食品を集め必要とする方に提供する仕組みが「フードドライブ」です。豊島区では豊島区民社会福祉協議会をとおして区内の子ども食堂や必要とする方々にお渡ししています。



●提供できる食品

以下の①～⑤を満たすもの
※保存状態によりお持ち帰りいただく場合があります。

- ①未開封で、包装・外装が破損していないもの。
- ②賞味期限が2か月以上あること。それが明記されているもの。
- ③生鮮食品ではないもの。また、冷蔵・冷凍が必要でないもの。
- ④常温で保管が可能であるもの。
- ⑤商品説明が外国語のみではないもの。



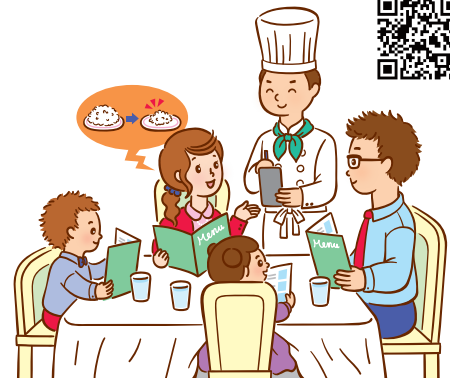
●受付窓口について

- ・受付窓口：豊島清掃事務所、区役所本庁舎6階 環境政策課、東・西区民事務所
- ・時 間：いずれも午前8時30分～午後5時(日曜日、祝日、年末年始を除く。区役所本庁舎、東・西区民事務所は土曜日を除く)



食べきり協力店

小盛りメニューを導入するなど、食べ残しを減らす取組みを実践している飲食店を「豊島区食べきり協力店」として登録しています。登録店にはステッカーやポスターの配布ほか、区ホームページで各店舗の取組みを紹介する PR 活動などを実施します。店舗の一覧や登録方法などは区ホームページ参照かお問い合わせください。



[区公式ツイッター、ごみ減量推進課インスタグラムを作成しました！](#)

問い合わせ先：豊島区環境清掃部ごみ減量推進課 03-3981-1111(代)



instagram



twitter